

令和2年2月28日



山王台だより3月号

横浜市立山王台小学校

〒235-0016

横浜市磯子区磯子5丁目2-1

TEL045(755)1107

【学校教育目標】自分のよさに気づき、相手の気持ちを大切にしながら、ともに高め合って生きる

春、巣立ちのとき

校長 志田 一彦

新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されます。厚生労働省からは「まさに今が、今後の国内での健康被害を最小限に抑える上で、極めて重要な時期」との発信がなされ、学校行事も様々な中止や変更が余儀なくされています。子どもたちの安全・安心のため、ご理解のほどよろしくお願いたします。

学校では、感染予防対策として、引き続き、うがい、手洗い、咳エチケットの励行、そして、教室のこまめな換気等に取り組んでいきます。2月25日に配付しました「新型コロナウイルス感染症の予防についてご家庭へのお願い」をご参照いただき、ご家庭でも、お子様の健康管理にご留意くださいますようお願い申し上げます。

さて、正門に通じる坂道の土手に菜の花や水仙が咲き、春の足音が聞こえてきています。日差しがすっかり柔らかくなり、校庭の桜のつぼみも膨らみ始めました。

春には鮮やかに咲き誇る桜ですが、冬の時期にはその幹や枝にしっかりとアレルギーをため込み、満開に咲くための準備をしています。冬に蓄えたエネルギーは、枝葉を伸ばす暖かい季節よりも大きな力で満ち溢れているのかもしれない。

冬の寒さに耐え、じっと開花のときを待つ桜の木は、子どもたちの学びに通じるものがあると思います。子どもたちの成長も花開くときまでには、地道な努力の積み重ねがあります。それは、寒空の中、少しずつ硬い芽を膨らませていく冬芽に似ていて、その成果はすぐには表れないかもしれません。しかし、小さな積み重ねは着実に子どもたちの力として蓄えられ、花開くときのエネルギーになっているはずです。

私たち大人は、やがて花開くひとつひとつの小さな努力に気づき、励まし、応援することができる存在でありたいと思います。

3月は学校にとって特別な月です。学年のまとめと進級に向けての準備、6年生にとっては中学校生活への旅立ちのときでもあります。

子どもたちは、この1年間、たくさんの体験や経験をしてきました。その中には楽しいことや嬉しいことだけでなく、悲しいこと、悔しいこともきっとあったはずです。それらを成長の糧として自分の力に変えてきた子どもたちです。毎日見ていると、なかなかその成長には気づかないかもしれませんが、1年前のお子さんの姿を思い出していただくと、たくましく成長した我が子を感じられることと思います。

この春、子どもたちは進級・進学へ、それぞれの新しい世界に向けて巣立ちのときを迎えます。

3月19日には、第39回目の卒業証書授与式が行われます。卒業生には、自分の可能性を信じて努力を続け、新しい道を切り拓いてほしいと思います。

6年間、どの子にも手をさしのべ、励ましてくださった保護者や地域の皆様のご支援、ご協力に感謝申し上げます。

61人の卒業生の未来に幸多かれと願います。